

分散調剤システムによる業務効率化 (第1回)

株式会社山梨薬剤センター 薬剤課長 廣瀬 徹

<当社の紹介>

当薬局は、山梨県山梨市という人口3万2千の小さな市にあります。四方を山に囲まれ、近くを笛吹川が流れています。武田信玄ゆかりの万力公園や新日本三大夜景に選ばれたフルーツ公園のふもとにあり、また、勝沼ぶどう郷・一宮桃源郷・石和温泉郷にも車で10分と観光地としても賑わっています。

当薬局は昭和55年に設立し、今年23年を迎えます。開設当時から院外処方せんによる調剤を行っており、その当時は医薬分業も進んでいない時代でしたので、県内でも珍しかったと思います。現在は1日の平均処方枚数480枚を薬剤師12名、事務員12名でこなしています。殆どが山梨厚生病院の処方せんを受けています。

医薬分業の推進、山梨厚生病院の発展

と共に当薬局も大きくなり、山梨県で一番(チェーン薬局を除く)になりました。

当薬局の薬剤師の平均年齢は30才ととても若く、パワーにあふれています。常に知識向上が必要な医療現場です。各自の自主性に任せてはいますが、皆勉強熱心で、週2回会社内で勉強会を行ったり、外部の勉強会にも数多く出席しています。入社して4年以上の薬剤師は認定薬剤師を取得しています。

当薬局は“やさしく、親切、ていねいに”を目標に社員一丸となって患者様へのサービスに努めています。夜間対応も昨年からはじめ、夜間の薬の問い合わせに対応しています。また、薬も常備1,300品目以上を備えており、他地域病院からの処方せんにもすぐに対応できるようにしています。